第二講　傍線部理由説明問題

傍線部の問題の２大パターンが前回の「傍線部説明問題」と今回の「傍線部理由説明問題」です。ではまずその形式から確認しましょう。その設問形式は次の通り、

傍線部～とあるが、なぜか　　説明せよ。
or
その理由を

というものです。この問題に対してもやはり一定のアプローチの仕方があるので、今回はその設問解法を学びましょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

傍線部理由説明問題解法

―「なぜか」の解答プロセス

①「文構造」を分析する。
・文法的構造
・論理的構造

↓

②「ポイント」を把握する。
・A → ×
（飛躍している部分）

↓

③「解答の根拠」となる文と対応させる。
・Aの説明
・「論証」のフレームワーク

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅰ「A → x」の発見

論証が必要な命題（文）には「A→x」という飛躍した部分があります。まずは、どこに飛躍があるかを見つけましょう。

①　主語（主部）→ 述語（述部）に飛躍がある場合。
②　修飾部（接続部）→ 被修飾部（被接続部）に飛躍がある場合。

※文構造（係り受け）を分析する中で、構造的につながっているが、意味的につながっていない部分を探します。
※「x」は、「なぜ『〜』か」というように設問が指定している場合もあります。

Ⅱ　論証部の発見

飛躍を埋める部分が論証部となります。「A→x」のAの説明を求めましょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅲ 「論証」のフレームワーク

① 「単純な論証」 A → B

根拠Aから主張Bが導かれている。

例文　A子ちゃんは美人だ。　根拠　A

したがって、導出 ←

私はA子ちゃんが好きである。　主張　B

※実はこの導出に必要な前提として、「私は美人が好きだ。」というものがあります。
これは「隠れた前提」として筆者の論証が成り立つように補ってやる必要があります。
筆者の論証が成り立つように隠れた前提を補うというルールを「**寛大の原則**」といいます。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②「論証の連鎖」　A → B → C

主張Aが根拠Aとなって主張Bが導かれ、その主張Bが根拠Bとなって主張Cが導かれる。

例文　A子ちゃんは目鼻立ちがはっきりしている。　主張A＝根拠A

したがって、導出 ↓

A子ちゃんは美人だ。　主張B＝根拠B

したがって、導出 ↓

私はA子ちゃんが好きである。　主張C

※この形が「論証」の中では一番多いです。「論証」の最後に来る文が「主張提示文」になります。
その前の文は「根拠」となります。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③「結合論証」

B ＋ A
―――――
↓
C

主張AとBが組み合わさって一つの根拠を形成し、主張Cが結論付けられる。

例文

A子ちゃんは美人だ。　主張A
＋　結合
私は美人が好きだ。　主張B

＝　根拠

したがって、導出　←

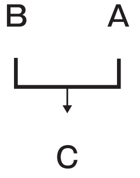
私はA子ちゃんが好きである。　主張C

※21ページに説明した「隠れた前提」がある場合、この「結合論証」となります。
この形も「理由説明問題」ではよく出題されます。

※「Aのみ」「Bのみ」の解答は減点されます。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「合流論証」



根拠Aだけでなく根拠Bもあり、主張Cが導かれる。

例文　A子ちゃんは美人だ。　根拠　A

また、

A子ちゃんは性格もよい。　根拠　B

したがって、　導出　←

私はA子ちゃんが好きである。　主張　C

※この場合はどちらか片方だけでも「根拠」になります。
設問の場合には「理由を二つ説明せよ」となることが多いです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅳ　論証を捉えるヒント

A　帰結の接続表現

「だから」「したがって」「よって」

「それゆえ」「ゆえに」

「それで」（「そこで」）

B　理由の接続表現

「なぜなら」「というのは（も）」

「けだし」「だって」

C　助詞など

「〜から」「〜ので」「〜ため」「〜より」「〜のだ」「〜のである」　↓　「〜」が原因・理由を表す

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　直接表現、比喩表現など

「理由」「原因」「結果」「帰結」「結論」
「～から生じる」「～に根ざしている」
「根源」「背景」など

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（次ページより問題演習）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
「なぜか」を攻略せよ！

第二講　傍線部理由説明問題　２０１０年第四問

（本問は、設問を一部省略して掲載しています）

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

極めて常識的なことだが、もし詩人が自ら体験し、生活してきた事からだけ感動をひきだし、それを言葉に移すことに終始していたならば、(ア)詩人なんてものは、人間にとって、あってもなくても一向にさしつかえのないつまらないものになるだろう。詩が私たちに必要なのは、そこに詩人の想像力というものがはたらいているからであって、それが無いと、謂(い)うところの実感をも普遍的なものにすることはできない。しかし、場合によっては、その想像力が、作者よりも読者の方により多くあってそのはたらきかけによって、作者をはなれて、作者と読者の中間に、あらかじめ計画されたものではないという意味において、一つの純粋な詩の世界をかいま見せるときがある。生なままで放り出されている実感が、受けとる側に、構築されたものとして、たしかな手ごたえをあたえるのはそういう場合である。私たちは、読者にあるこのような想像力の作用が、ときに、眼前にある物や、日常次元にある平凡な実感に、積極的な詩の力をあたえ、それら

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

を変質させてしまう場合があることをみとめなければならない。それと同時に、またこの関係が逆になっているときのことも考えることができる。すなわち、一見、豊富な想像力と、多彩なイメージによって構築されているように見える作品が、これも読者に想像力があるために、そのはたらきかけによって、内質は日常次元の平凡な生活感情の表現にすぎないことを、たちどころに看破されている場合もあるのである。現代詩は難解だなどと云(い)って、詩を理解する力のないことを、さも謙虚そうに告白している人が、イまったく嘘(うそ)をついているように私に思えるのは、それによって、彼らがすべての作品の質を習慣的に選別し、自らの立場においてそれを受け入れたり、突き放したりしている、この彼らの中にある想像力に対する自信を喪失してしまった形跡が見えないからだ。それはときに、すきまもなく重層して硬く鱗質(りんしつ)化してしまったようなイメージの中へ浸透していって、それをぐらぐらに壊体させる。

　想像力は、それが外見は恣意(しい)的に八方に拡散しているように見えるときでも、必ずある方向性を持っている。ただそれは明白な観念や思想のように、直線コースにおいて目標を指示していないから、ときに無方向に見えたり、無統一に見えたりするだけである。詩における想像力は、目標に向かって直進する時期においてよりも、むしろ目標から逆行する時間もふく

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
「なぜか」を攻略せよ！

んだ極端なジグザグコースにおいて、その本来の機能を発揮するものだとさえ考えてよいだろう。想像力の中にある方向とは、このような蛇行状態の中にある意志のようなものであって、目標から背を向けて動いている筋肉のある部分において、その目標をより確実にひきつけているのである。あたかもガラガラ蛇の行進のごとくにだ。現代詩が、一たび、イメージによって考えるということを重視したからには、イメージとイメージがぶつかり、屈折して進行してゆく状態の中に、思想や観念によって考える場合にかんたんに切りすてられているこの目標から背馳（はいち）する力が作用しながら、それが、究極において、作者の想像力に一定の方向と思想性をさえあたえるというこの関係を、詩の力学として、詩人はしっかりとつかんでいなければならない。個別的に分析すると、救いがたいニヒリズムに通じるような否定的な暗いイメージの一つ一つが、重層し、錯綜（さくそう）し、屈折しながら進行してゆく過程で総合され、最後的に読者の精神にそれが達するときは、ケミカルな変化をとげていて、逆に人間に大きな希望と勇気をあたえる要素となっている場合を考えれば、凡（およ）そ詩において、想像力というものはいかなるはたらきをしているかが理解できるだろう。しかし、この否定的なモメントの中に肯定的なモメントを、暗さの中に明るさを（その逆の場合もあるが）、それをとらえることができるのも、詩人の方だけでなく

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

読者の側にもその想像力というものがあるからで、むしろ重大なのはこの方ではないだろうか。私は、現代の詩人は、読者もまた持っているところのこの想像力という能力の計量を、その方法の出発においていくらかあやまっているように思えてならない。

ここにおいて、再び問題になってくるのは経験である。あるいは経験の質だと云おう。強烈な想像力は、直接経験したことがらを超越するという意味において、現実の次元からとび出すことは可能であっても、ウ**その現実の中での経験の質的な核を破壊することはできない**。かりに宇宙というイデーをそこにぶっつけても、想像力の行動半径は、この経験の質的な核によって限定される。そして限定されているものであるために、私たちは、その想像力の実体というものを正確に計量することができるのである。どのような詩人の持っている想像力も、その意味で、いついかなる場合においても現実をふんまえ、敢えていえば、生活をひきずっているものであるといってよいだろう。したがって、想像力の実体をつきとめるということは、それがふんまえている現実を、生活現実をあからさまにするということに他ならない。

（小野十三郎「想像力」）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

㈠「詩人なんてものは、人間にとって、あってもなくても一向にさしつかえのないつまらないものになるだろう」（傍線部ア）とあるが、それはなぜか、説明せよ。

㈡「まったく嘘をついているように私に思える」（傍線部イ）とあるが、それはなぜか、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

㈢　「その現実の中での経験の質的な核を破壊することはできない」（傍線部ウ）とあるが、それはなぜか、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　傍線部理由説明問題　講義のまとめ

「なぜか」の問題とは

←

① 文構造（［①］、［②］）の分析ができているか

② ［③］を分析し、その［③］を埋める［④］を読めるか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　傍線部理由説明問題

２０１０年　第四問　小野十三郎「想像力」

要旨

詩人の実感を人間にとって普遍的なものにするためには、生活体験による実感だけではなく想像力がはたらく必要がある。

しかし、読者の側にも想像力がはたらき、詩人が意図していなかった作用を読者にもたらすこともある。現代の詩人はその読者の想像力の作用を見あやまっているように思う。

想像力は直接経験したことがらを超越するが、その生活体験から生じる実感は現実生活におけるものでしかない。想像力は現実生活の質的な核に限定されているのである。

解答

㈠
詩人の実感が普遍的なものになるためには想像力が必要だが、生活体験による感動のみを表現した詩には想像力がはたらいていないから。

解答ポイント

① 詩人の実感が普遍的なものになるためには想像力が必要
② 生活体験による感動のみを表現した詩には想像力がはたらいていない

㈡
現代詩を理解できないという読者は、詩を理解する想像力があるがゆえに一見創造的な詩の内質を平凡な感情だと看破しているから。

解答ポイント

① 現代詩を理解できないという読者
② 詩を理解する想像力があるがゆえに
③ 一見創造的な詩の内質を平凡な感情だと看破している

㈢
人間の想像力は直接経験したことがらを超越するが、想像力の及ぶ範囲は現実の生活経験の質的な核により限定されてい

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

るから。（半解）

（三）

想像力は直接経験していない事柄からある実感を得るものであり、事柄と実感の因果関係は現実生活に普遍的にあるものに限られるから。（別解）

解答ポイント

① 人間の想像力は直接経験した事柄を超越する
（想像力は直接経験していない事柄からある実感を得る）

② 想像力の及ぶ範囲は現実の生活経験の質的な核により限定されている
（事柄と実感の因果関係は現実生活に普遍的にあるものに限られる）

解説

（一）　傍線部理由説明問題

傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。傍線部を分析すると、「詩人なんてものは」という部分と、「人間にとって、あってもなくても一向にさしつかえのないつまらないものになるだろう」という部分の間に飛躍がある。よって、その飛躍を埋める論証となる部分を本文中に求める。

まず、「詩人なんてもの」の説明として、第一段落一文目に②「もし詩人が自ら体験し、生活してきた事からだけ感動をひきだし、それを言葉に移すことに終始していたならば」という部分がある。これは傍線部に対する条件になっていることから、この部分が根拠となるということがわかる。

しかし、これだけでは不十分である。さらに、「詩人」の説明を求めると、第一段落二文目②「詩が私たちに必要なのは、そこに詩人の想像力というものがはたらいているからであって、それが無いと、謂うところの実感をも普遍的なものにすることはできない」とある。これをまとめると「詩人の想像力がはたらいていないならば、詩人のいう実感を普遍的なものにすることはできない」ということである。さらに言い換えると、①「詩人の実感を普遍的なものにする（＝人間にとって意味あるものにする）ためには、詩人の想像力が必要である」ということである。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

（二）　傍線部理由説明問題

傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。傍線部を含

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

む一文を分析すると、「現代詩は難解だなどと云って、詩を理解する力のないことを、さも謙虚そうに告白している人」という部分と、傍線部「まったく嘘をついているように私に思える」という部分の間に飛躍がある。よって、この飛躍を埋める論証となる部分を本文中に求める。

　まず、「現代詩は難解だなどと云って、詩を理解する力のないことを、さも謙虚そうに告白している人」の説明として、第一段落八文目に「それによって、彼らがすべての作品の質を習慣的に選別し、自らの立場においてそれを受け入れたり、突き放したりしている、この彼らの中にある想像力に対する自信を喪失してしまった形跡が見えない」とある。つまり、①「現代詩は難解だなどと云って、詩を理解する力のないことを、さも謙虚そうに告白している人」は②「想像力がある」のである。

　しかしこれだけでは不十分である。その「想像力」があるがゆえに、同段落七文目③「内質は日常次元の平凡な生活感情の表現にすぎないことを、たちどころに看破されている」のである。よって、「現代詩は難解（理解できない）」、つまり「一見豊富な想像力と、多彩なイメージによって構築されているように見える作品」の「良さがわからない（普通に見えてしまう）」となる。

　以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

㈢　傍線部理由説明問題

　傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。傍線部を含む一文を分析すると、「強烈な想像力」という部分と、傍線部「その現実の中での経験の質的な核を破壊することはできない」という部分の間に飛躍がある。よって、この飛躍を埋める論証となる部分を本文中に求める。

　まず、「強烈な想像力」とは、第三段落三文目にあるように①「直接経験したことがらを超越する」、「経験していないことをも想像出来る力」であることがわかる。

　しかし、これだけでは不十分である。㈠で捉えたように「想像力」とは①「自ら体験し、生活してきていない事」からも「実感」を引き出すものである。しかし、そのことによって「普遍的な実感」となるはずであるから、人間（読者）の誰もがその「ことがら」から共通する「実感」を引き出すはずである。すると、②「ことがら」と「実感」は「普遍的に認められる因果関係」で繋がっていなければならない。これが「現実の中での経験の質的な核」である。

　以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。